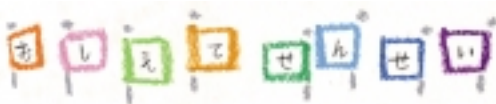


教えて先生



ママの悩み



1歳違いの兄弟の事なのですが、6歳のお兄ちゃんが弟の面倒をみようとしません。手を繋いで歩く事は嫌がるし、このままずっとこんな状態で大きくなるのか気になっています。こうしたらいというような事もあれば教えて下さい。

A

質問紙が送られてくる度に、現代は子育て中のママたちが様々な場面で悩み心配しストレスを溜め、神経過敏になって不安を募らせていく時代なんだと改めて実感すると同時に、質問に關しての僅か数行の情報で果たしてママの不安の解消に役立つ解答が出来るだろうかと思ひます。

1歳違いのお兄ちゃんが弟の面倒をみないので、これがずっと続いたらという不安と、何か対応策をとこうとですが、でも考えてもみて下さい。まだ生まれてたった六年しか経っていないお兄ちゃんですよ。自分のしたいことがいっぱいある年齢、しかも一人っ子時代の現在、下の兄弟の世話をするモデルが周りにいません。

かつてお母さんたちは二日中働いて、しかも4・5人の子どもを育てていました。それが出来たのは上の子どもたちに「弟や妹の面倒を見て頂戴」と頼まれ、外に行くと周りの友だちも忙しいお母さんの代わりに兄弟の面倒をみながら一緒に遊んでいました。

年齢の違う子どもが群れて遊ぶと、けんかは、しよっちゅう、そんな中で、たくましさ、勇気、チャレンジする心、兄弟や幼い子ども、体の弱い子へのいたわりや、やさしさ、思いやりの心も自然に育てられました。

でも残念ながら現代社会では、群れ

て遊ぶ場所もなくモデルとしての兄弟関係も見られなくなりました。

ですからママの期待通りにお兄ちゃんが弟の面倒をみてくれないことになり立って、これから先の兄弟仲を案じる余り「手を繋いであげなさい」「着替えを手伝って」「おもちゃを貸して」等、お兄ちゃんに感情をぶつけてしまうこと、モデルを持たないお兄ちゃんは「何故、ボクばかり叱られるんだろう」と、ママの思いとは逆の感情がふくらむかも知れません。ママがこれまでどんな関わり方をなさったのか解らないので私の勝手な憶測だったらごめんなさい。

もうひとつ、上の子どもの心理は「お兄ちゃんでは」と言われても納得できないかも知れません。「兄弟同じように愛してるのに」と思われるかも知れませんが、子どもの側からすれば、どちらも「ボクだけ」の親であって欲しいと思うものです。

周りの一人っ子のように両親の愛情を一人占めしたい時に下の子が生まれ、かわいい赤ちゃんに周囲の関心を奪われたという腹立たしい思いも残っているかも知れません。その親の愛情を分かち合つことを学ぶのは、6歳までの育ちのプロセスで「さすがお兄ちゃんね」とか、弟にちょっとしたやさしさや世話をしてくれようとした時、「あ

藤岡 佐規子先生
ふじおか さきこ



1946年、京都女子専門学校保育科を卒業後、光沢寺保育園に入職。以後一貫して乳児保育に従事。現在、光沢寺第二保育園園長。北九州市保育所連盟会長、国際婦人開発基金(ユニフェム)日本国内委員会北九州地域等委員会会長、財団法人アジア女性交流研究フォーラム理事、同児童福祉施設等第三者評価委員会、同社会福祉審議会各委員等(以上、現職)。この間、全国社会福祉協議会全国保育士会会長、福岡県保育協議会副会長・同保育士会会長、福岡県立大学・西南女学院短期大学非常勤講師等を務める。

- 仲間達への定期便(西部読売開発出版部)
- 育てよう、いきいきっ子(共著、蒼丘書林)
- 子どもと環境(共著、蒼丘書林)
- 感性を育てる保育実践領域環境と感性(共著、ミネルヴァ書房)
- 感性を育てる保育実践領域人間関係と感性(共著、ミネルヴァ書房)
- 感性を育てる保育実践領域言葉と感性(共著、ミネルヴァ書房)
- 保育園の窓辺から…(蒼丘書林)

りがとう、ママっれいいわ」という承認や感謝のごとほのつれしき、喜びの気持ちがいたわりになって表れるようになります。

でも余り心配なさらないで！兄弟というのは家の中で仲が悪かったり、冷淡に見えても、ママが不在の時や、外に出ると、かばい合ったり、仲良くしたりするものですよ。

子育てで気になって仕方がないことがある時は、周りに方に率直に助けを求め、ストレスを溜めないようにして下さいね。イライラするごと、どうしても子どもの心を傷つける叱り方をしつてしまいがちですから…。